

学校の教育目標

よく考え 励まし合って やりぬく子

- よく考える子

自分の考えをもつ、深める
- 励まし合う子

相手のよさに気づき、自分のよさに気付く
- やりぬく子

健全な心と体をつくる

学校課題 [教職員]いじめ・不登校の防止、
ふるさと教育、学校運営協議会、ICT活用、
[児童]自主・自立、自己肯定感の二
極化、多様性、学習リーダーの育成、
運動に親しむ、ウェルビーイング

生徒指導力の向上、特別支援教育の充実

令和7年度キーワード

自ら歩み出す力 対話力 笑顔をつくる力

学習づくり	生活づくり	健康づくり
自分を知り、自ら求め学ぶ(挑戦)	仲間とともにつくり上げる(勇気)	目標をもち、あきらめず取り組む(持続力)
■学びを高める「聴き方」「話し方」の習得 ・朝学習での「聴く」「話す」のスキルアップ ・学業指導年間指導計画及び「7つの反応」 ■「対話による学び合い」を重視した授業改善 ・目的意識と考えづくりの在り方 □ICTを活用した教育活動 ・タブレット端末の効果な使用 ・情報モラル教育の充実 □読書活動の推進 ・読書習慣の定着と資質・能力の向上	■よさを認め合い、価値あるものをつくる ・互いの思いや考えを知り、良さを伝え合う。 ・活動により価値あるものをつくる経験をする。 □人権尊重の精神の涵養 ・心豊かな生き方を感じ取る。 ・言語環境を整え、正しい言葉づかいをする。 □教育相談の充実 ・心のアンケートの活用、Q-U調査の活用 □道徳的实践力を養う道徳教育 ・「ぎふ いのちの教育」の実践	■体力づくり ・外遊びで、高まる心と体 ・目標を定め、取り組む朝活動(なわ跳び) ・わかたけ活動で、異学年がともに活動する。 □安全指導の充実 ・命を守る訓練で課題を明らかにし、安全への意識を高める。 □基本的な生活習慣の確立 ・早寝早起き、朝ごはん・朝排便 ・感染予防 ・食育と生活健康チェック
児ア学3「自分の考えを伝えた」 85% ×5%↓ 児ア学6「最後まで聞く」 90% ×1%↓ 保評学⑤「分かりやすい授業」 85%以上	児ア生10「自分にはよいところ」 ◎65% ×3%↓ 児ア生16「先生に相談している」 80% ×3%↓ 保評町②「きめ細やかな教育」 85%以上	児ア学15「運動や外遊び進んで」 90% ×1%↓ 児ア生14「自分の命を大切に」 100% 保評学③「安心して学べる環境」 90%以上
教務主任・研究推進委員会 ・発達段階に応じて、「聴く」「話す」の価値について確認する。(学級・全校集会・放送) ・公開授業および全校研究会を通して、モデルとなる対話活動を明らかにし、そのための指導法を協議し、改善を積み重ねる。 ・児童が自己分析し、学習に対して目的意識をもって取り組み、学び得ることを実感できるようにする。 ・一人一人の考えを表出できる場を設定する。 ・タブレット端末を「個別最適」「協働的な学び」の観点での活用を実践的に積み重ねる。 ・情報モラル教育の年2回の強化期間を定め、適正な利用を指導する。 ・児童会の取組を生かしながら、教師自ら読書に親しむ姿を示す。(読み聞かせ・紹介等)	生徒指導主事・教育相談担当・道徳主任 ・さまざまな活動において、児童が自分の思いを確かめたり、相手の思いを知ったりする場をつくる。仲間の良さを見つける力を養う。 ・協働的な活動を通して得たものについて、その要因や過程を確認し、次への財産とする。 ・仲間、教職員、保護者、地域人材、教材などから心豊かな生き方を学ぶ機会を設ける。 ・人権意識を高めながら、教職員自ら適切な言葉づかいをし、児童の言語環境を整える。 ・アンケートなどで自らSOSを出せる環境を整えるときともに、「話を聞いてもらえる人の存在が幸福につながる」の大切さを伝えていく。 ・多様性を大切にしつつ、ルールとリレーションをもとに、人と人との良い関係づくりを進めていく。	保健主事・養護教諭 ・本校の文化になりつつある「外遊びの習慣」を大切にし、心の安定や体力の向上を図る。 ・同調する傾向から一歩踏み出し、目標をもって運動等に取り組む姿勢作りをする。 ・単学級化が進む中、異学年による活動によって、より多くの個性にふれ、学べるようにする。 ・命を守る訓練について、時代や社会の変化、昨今の自然災害に応じてアップデートする。 ・指示に素直に従う姿勢から、発達段階に応じて、状況を知り、自ら考え行動できる力を養う。 ・児童の学校での姿と家庭での生活習慣との関連について、常に情報を収集、考察し、その改善を本人や家庭に働きかける。 ・感染症の状況について、情報を共有しつつ、複数の教職員がかかわり、予防に努める。

3つの伝統：挨拶・時間・掃除→具体的な目標・場で達成や成功を積み重ねる

教職員 ロールモデルとして学び続ける ①ICT機器を活用して学ぶ意欲を引き出すなど楽しい授業に挑戦する。 ②高い人権意識をもち、子どもの声を聞き取り、温かく丁寧に対応する。 ③規律ある集団生活の大切さを伝え、個のよさを認める。 ④子どもの前に笑顔で立てよう働き方を調整し、心身の健康を保つ。 ⑤特別支援教育の観点をもって、子どもを導き、支える。 みんなで考え、みんなで解決し、みんなで喜び合う ①子どもや保護者、同僚の笑顔をつくり出すために学び続ける。 ②危機管理意識をもち、不測や緊急の事態にも対応する。 ③難しい事案に対しては、複数の教職員で対応し、ケース会議等で解決方法を考え行動する。一定の解決を成し遂げた際に関係者で喜び合える。 社会に開かれた学校教育 ①学校の教育の状況について、ホームページやメール配信で知らせる。 ②保護者との情報を共有し、協力・信頼関係を構築する。 ③地域の教育資源に着目し、地域人材を含めて、地域の協力を得ながら教育活動を進める。	学校運営協議会	地域 学校に、地域の声が届き、地域の人が集まる ◇さまざまな会議や活動で、子どもや学校のことが話題になる。 ◇地域のリーダーに、子どもや学校の情報が集まり、学校に伝わる。 ◇学校の行事に、地域の人が集まる。 「子どもたちのために」を合言葉に行動する ◇地域の自然や歴史、産業を生かした豊かな体験活動への意識を高める。 ◇地域行事への積極的な参加と児童の活躍の場を位置づける。 ◇安心で豊かな教育環境を整備する。 ◇子どもの登下校の見守りをする。 ◇子どもの話に耳を傾け、心の支えとなる。
		保護者 学校教育の理解と行事等への協力 ◇子どものがんばりや成長を ◇安心で豊かな教育環境整備への協力、支援 家庭の教育力の向上 ◇基本的生活習慣（早寝早起き朝ご飯・歯磨き） ◇自己肯定感の育成、思いやりの心の育成 ◇家庭学習・読書習慣（家庭学習のすすめ）

保護者・地域の二一ズ、地域の教育資源(物的・人的・産業文化)